

第三次長野市環境基本計画(素々案)に対する意見について

第2章 長野市の現況

| 素案の該当箇所 | | 意見の概要 | 意見への対応 |
|---------|-------------------------|--|---|
| 頁 | 項目 | | |
| 4 | 図2-2 地目別土地面積の推移 | 「その他」が2番目に面積が多いが、ある程度、中身を示せないか。 | その他は、道路、公園等非課税筆の集計のため、地目別に示すことはできません。 |
| 5 | 図2-3 産業(大分類)別従業者数の推移 | 最近のデータであり、過去からの推移が上手く読み取れない。もう少し、過去に遡って統計データを示して欲しい。 | 同じ分類方法である、H21年度から掲載しました。 |
| 9 | 図2-9 家庭系食品ロス量 | H20年であまり減少していないため、かなり強い施策が必要と思われる。 | 長野市一般廃棄物処理基本計画に新たに食品ロス削減推進計画を位置付け、数値目標を定め、2000年度比で2030年度までに食品ロスの半減を目指すようにします。 |
| 10 | 図2-10 産業廃棄物処分業者の種類別処理実績 | 最近のデータであり、過去からの推移が上手く読み取れない。もう少し、過去に遡って統計データを示して欲しい。 | 過去からの推移が分かるように、H19年度から3年度毎に掲載しました。 |

第3章 望ましい環境像と基本目標

| 素案の該当箇所 | | 意見の概要 | 意見への対応 |
|---------|---------|--|--------------------------------|
| 頁 | 項目 | | |
| 17 | 望ましい環境像 | そのキャッチコピーから頭の中に描くイメージは人によってそれぞれ異なるため、語句に含まれる意味を説明すれば、市民の行動指針につながるかと思う。 | 望ましい環境像の下に、語句に込める意味の説明を追加しました。 |

第4章 施策の展開

全体を通して

| 素案の該当箇所 | | 意見の概要 | 意見への対応 |
|---------|---------------------|---|--------------------------------------|
| 頁 | 項目 | | |
| 44.62 | 管理指標 | 指標の目標値が具体的にイメージできない。例えば、一人一日当たりのごみ排出量では926gとは、具体的にどのくらいの量かイメージできない。881gにするには、具体的に何を減らせば達成できそうかイメージができないので、コラムでその具体例を示せると良いと思う。市民一人一人が、エアコンの温度を何度を設定すると削減できるエネルギーがどう変わるかなど、具体的にイメージを伝えることで、協力しやすくなるのではないか。 | コラムで対応しました。 |
| 全体 | 市民の取組指針 | 市民の取組指針について、ホームページまたは概要版で一覧できるようにしてはどうか。関心を持った市民に、全部読まなくてもどんなことに取り組めばよいかをわかりやすく伝えることが大事。 | 一覧にしてホームページに掲載します。 |
| 全体 | CO ₂ の表記 | 物質名を表す化学記号は「CO ₂ 」のように書くのが一般的なようだが(正式には2は下付き文字)、2が下付きで書かれているところも見られた。専門用語ではなく一般的な表現に統一して欲しい。 | 県の計画等に合わせて「CO ₂ 」に統一しました。 |

第4章 施策の展開

基本目標1

| 素案の該当箇所 | | 意見の概要 | 意見への対応 |
|----------|---|--|--|
| 頁 | 項目 | | |
| 全体 | 「脱炭素」と「低炭素」の整理 | 各所に「脱炭素」と「低炭素」という言葉が出てくるが、使い方の整理が必要ではないかと感じた。 具体的には、例えば再生可能エネルギーに続く文脈では「脱炭素」を使う方が自然であるとする。 一方で、脱炭素化を実現するまでには時間がかかる(設備投資や技術開発が必要)ところもあるので、短期的には徹底的に「低炭素化」を図っていくことが必要であり、施策としては高効率機器の導入や低炭素燃料への転換の促進などに繋がってくるかと思う。 | ご指摘のとおり整理しました。 |
| 全体 | 1-7 施策の展開 需要側と供給側の施策整理 | 各所に「炭素クレジットの活用」や「省エネルギーの推進」が出てくるが、需要側と供給側の両方で同様の表現となっていて分かりにくいので、整理して欲しい。 例えば、事業者側の省エネルギーの推進は「低炭素エネルギー利用への転換」とするなど。 | ご指摘のとおり整理しました。 |
| 30 | 1-5 温室効果ガス削減目標等 【再生可能エネルギー生産量】 ●2030年重点目標 【産業部門】 ③主な施策 | 「天然ガスシフト」または「低炭素燃料への燃料転換」の推進を追記してはいかがか。 | ご指摘を踏まえ追加しました。 |
| 31,32,33 | 施策テーマ1-1 再生可能エネルギーの利活用と地産地消 | 省エネルギーの推進による温室効果ガス削減に寄与するものとして、電気・熱を有効利用できる最適システムとして分散型エネルギーシステム導入の取組を追記することを提案する。 | ご指摘を踏まえ修正しました。 ・市の取組 P31 ・市民の取組 P32 ・事業者の取組 P33 |
| 32,33 | 施策テーマ1-1 再生可能エネルギーの利活用と地産地消 | 「地産地消」と「自家消費」を区別する必要があるように感じる。 本文中では、自家消費＝地産地消として扱われていると思うが、自家消費のシステムはそれ自体が地産地消(地域消費型?)のシステムと別物になる可能性があるため。 | ご指摘を踏まえ修正しました。 ・市民の取組 P32 ・事業者の取組 P33 |
| 31 | 施策テーマ1-1 再生可能エネルギーの利活用と地産地消 | 太陽光発電などの既存技術以外の新規開発も必要だと思うが、そのあたりは検討しているのか。 それとも、それは県や国の責任と考えるべきなのか。 | 現時点では、市レベルで、新規技術開発への言及は難しいものと考えています。 |
| 32 | 施策テーマ1-1 再生可能エネルギーの利活用と地産地消 <市の取組(施策)> ◆再生可能エネルギーの普及啓発の推進 | 「化石燃料から」を削除し、以下のように変更してはどうか。 「太陽光をはじめとする再生可能エネルギーへの転換を促進します。なお短期的には電力では対応できない熱分野などでは、(都市ガスなど)より低炭素な燃料への転換を促進します。」 | 「低炭素燃料への転換」については、施策テーマ1-3(P40)に記載しています。 本ページは、施策テーマ「再生可能エネルギーの利活用と地産地消」なので、そのままの表現とさせていただきます。 |
| 32 | 施策テーマ1-1 再生可能エネルギーの利活用と地産地消 <市の取組(施策)> ◆地域新電力による地域循環共生圏の実現 | 新電力事業導入については長期的な計画であると聞いたが、2050年までを考えているのか。 おそらくこの問題は、2050年以降も継続して検討すべきことと思う。 この継続のための対策は本計画に含まれているのか。 | 新電力事業については、現在、バイオマス電力を活用した新電力の設立の可能性について調査しているところです。 これに限らず、本計画は5年間の施策となるものの、計画最終年度には包括的に点検・評価をし、継続を含め施策の見直しを行います。(P90 進行管理に記載) |
| 35,39 | 施策テーマ1-2 バイオマス資源の有効活用 | バイオマス資源について、様々な研究がなされているので、情報収集し、採り入れてはどうか。例えばソルガムなど | ご指摘のとおり修正しました。 ・市の取組 P35 ・コラム P39 |
| 40 | 施策テーマ1-3 省エネルギーの推進 管理目標 | 管理目標の指標として「市民一人一日当たりの温室効果ガス排出量」としているが、一般的には1日ではなく、1年何tという指標とする表記が望ましいのではないか。 | ご指摘のとおり修正しました。 |

第4章 施策の展開

基本目標1

| 素案の該当箇所 | | 意見の概要 | 意見への対応 |
|---------|--------------------------------------|---|--|
| 頁 | 項目 | | |
| 40 | 施策テーマ1-3 省エネルギーの推進 管理目標 | 指標の「二人以上の世帯当たりの年間エネルギー消費量」について、今後は電化が進んで増える分と省エネで電気を減らす部分が相殺されあって、電気が増える可能性がある。各エネルギー需要の見通しを考えつつ、一律に1.5%減らせばいいということはないと思うので、検討いただきたい。 | ご指摘を踏まえ修正しました。 |
| 42 | 施策テーマ1-3 省エネルギーの推進 ＜事業者の取組指針＞ | BEMSは商用ビルのエネルギーマネジメントシステムであり、工場を持つ事業者に対してはFEMSとなる。大規模な工場はFEMSの導入が進んでいるが、中・小規模工場ではまだまだのように感じる。長野市は大規模工場が少ない状況だが、BEMS、FEMSの使い分けをお願いしたい。 | ご指摘のとおり修正しました。 |
| 47 | 施策テーマ1-4 脱炭素型の地域づくりの推進 ＜事業者の取組指針＞ | 「より多くの人達が利用する交通手段とするため、公共交通機関の利便性の向上を図ります」としているが、バス運行会社の負担に限定的であり、一般的事業所が取組むことを記載すべきではないか。 | 公共交通機関利用者の利便性の向上には、運行本数や路線の確保などが必要であることから、事業者が担う取組として位置付けているものなので、そのままの表現とさせていただきます。 |

基本目標2

| 素案の該当箇所 | | 意見の概要 | 意見への対応 |
|---------|---|---|--|
| 頁 | 項目 | | |
| 63 | 施策テーマ2-1 4Rの推進 ＜市の取組(施策)＞ 地域循環共生圏づくりの推進 | 生ごみ自家処理機器に関する情報(取扱販売店、対象となるメーカー・機種、価格帯など)がわからない。ホームページでももう少し情報提供するようにしてもらえると、助かる人もいるのではないか。 | ホームページを充実させます。令和2年度以降、コロナ禍による巣ごもり消費の影響により、生ごみ自家処理機器購入補助金の申請件数が伸びていますので、申請方法等を丁寧にご案内していきます。 |

基本目標3

| 素案の該当箇所 | | 意見の概要 | 意見への対応 |
|---------|--|--|----------------|
| 頁 | 項目 | | |
| 69 | 基本目標の達成状況を図るための指標 「豊かな自然環境が保たれている(アンケート)」 | 目標値が現状値より下がっているのはなぜか。 | ご指摘を踏まえ見直しました。 |
| 76 | 管理指標「市内中小河川9河川の水質階級」 | R8年の目標値に(現状目標継続)の但書があった方がよいのではないか。(現状値からの悪化を認められるととられないため) | ご指摘を踏まえ見直しました。 |

基本目標4

| 素案の該当箇所 | | 意見の概要 | 意見への対応 |
|---------|---|---|----------------|
| 頁 | 項目 | | |
| 78 | 基本目標の達成状況を図るための指標 「空気や水がきれい、まちも美しく保たれている(アンケート)」 | 目標値が現状値より下がっているのはなぜか。 | ご指摘を踏まえ見直しました。 |
| 79 | 管理指標「市内中小河川13河川の生活環境項目(BOD)平均値」 | 管理指標の目標値「2.0mg/l以下」は、「長野市環境基準のしおり」の表記「2mg/l以下」がよいのではないか。(目標として小数点以下の数値を示していないので但書も不要) | ご指摘のとおり修正しました。 |

第4章 施策の展開

基本目標5

| 素案の該当箇所 | | 意見の概要 | 意見への対応 |
|---------|-------------------|--|---|
| 頁 | 項目 | | |
| 85 | 基本目標5 協働と学びの推進 | 環境活動、環境教育(見学等も含む)、環境啓発などでは、これからはインターネット(特にSNSや動画)の活用が重要だと考える。活動参加者の把握や意識調査などもSNS等を利用すれば、特に若い世代にとっては、これまでとは全く異なる効果が期待できると考える。 | ご指摘を踏まえ修正しました。 |
| 86 | 施策テーマ5-2 学びの推進 | 子どもの頃の豊かな自然体験は、環境問題を考えるための協力的なベースとなるため、自然体験の機会を広く提供する仕組みを構築して欲しい。具体的には、環境問題に取り組む事業者、NPOや各団体を「人材バンク」のようなものに登録し、学校からの要請に応じて対応できる体制を作るのはいかがか。 | 施策「地域における継続的な環境学習を推進するための体制の検討」にて対応します。 |
| 86 | 施策テーマ5-2 学びの推進 | 小中学校での取組は具体的に記されているが、高校・大学との取組はどうかと思う。教育課程との関連もあるので、方向を研究していく必要があると思う。 | ご指摘を踏まえ追加しました。 |
| 86 | 施策テーマ5-2 学びの推進 | ホームページでクイズ形式などで学習できるようにしてはどうか。解説を合わせて載せれば、子どもの自由研究に使えるようなものであれば、もっと気軽に参加できる人がいるのではないか。 | ホームページで対応します。 |

第5章 計画の推進

| 素案の該当箇所 | | 意見の概要 | 意見への対応 |
|---------|-------|---|----------------|
| 頁 | 項目 | | |
| 89 | 推進体制図 | 行政が主導となることはもちろんのこと、市民・事業者が今後の環境問題について如何に認識し、行動に移していくかが重要であると思う。市民と事業者、市民同士、事業者同士で情報を共有し、有効な活動が展開できる体制作りが必要と考える。 | ご指摘を踏まえ修正しました。 |